

令和2年1月20日(月)



「遠距離友だち」

保育園で仲良くなりオーストラリアに引っ越ししたお友だちが、冬休みに日本に帰省するため年に1度会うのが恒例となっています。言葉の壁を不安に感じ前日から緊張気味の壮佐でしたが、日本語と英語の会話は絶妙に通じ合い、楽しい時間を過ごしました。お別れの時、いつもなら「またね」と笑顔で別れるのですが、今回はお互い涙の別れ。簡単には会えない距離を理解できるようになった2人を見て、成長を実感し、心があたたまりました。

(たんぼぼぐみ そうすけくんのお家から)

言葉の壁を感じないくらい2人の仲は年々と深まっているのでしょうか。
いつまでも仲よしの2人でいてね。

(保育士より)

「やさしいけんた」

私が料理をしていると「何しようの〜?」と近づくんた。玉ねぎを切り、涙を流す姿をみて「痛い?大丈夫?拭いちゃる」と。タオルや自分の服で涙を拭いてくれます。兄姉もいますが、心配してくれるのはけんただけ。忙しい時間に、けんたの優しさで心和らく時間です。何歳まで心配してくれるかな〜?

(すみれぐみ けんたくんのお家から)

保育園でも泣いているお友だちがいたり、保育士がくしゃみをしたりすると優しく「大丈夫?」と声をかけてくれます。何歳になっても優しいところを持って成長していくと思います。

(保育士より)

「次は何ちゃんかな??」

元々、お人形遊びが好きで、メルちゃんのお世話をよくしていました。お着替えさせたり、お布団をかけてトントンして寝かしつけたり。あやちゃんが一番末っ子なので下の子の面倒をみる代わりに。最近、姉の影響でリカちゃん人形に進化しました。お店屋さんごっこやおままごとなど幅広くなっています。遊び方が変わるにつれて成長を感じます。次に欲しがる人形は何ちゃんかな??

(ちゅうりっぷぐみ あやねちゃんのお家から)

お人形さんへの優しいお世話は、さすが女の子ですね。
保育園でもいろいろなぬいぐるみを抱っこしてあそんでいるあやねちゃんです。

(保育士より)